

Techno Report

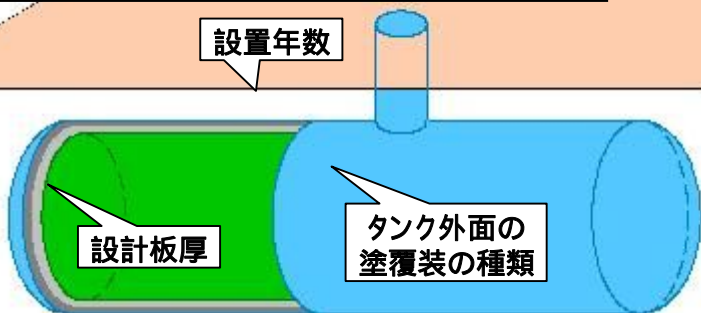
【 危険物地下貯蔵タンクの『流出防止対策』が義務化されます 】

消防庁からの連絡文書（消防危第141号 平成22年7月6日）によると、『平成21年中の危険物施設における流出事故件数は361件で、依然として高い水準にあります。発生原因別では腐食等劣化によるものが109件と最も多く、流出事故総数の約30%を占めており、危険物の流出拡散による火災危険及び土壌汚染等が懸念されております』と危険物の地下貯蔵タンク及び地下埋設配管からの腐食劣化による流出事故対策の必要性を紹介しています。このため、古い鋼製一重殻の地下貯蔵タンクは2年間の経過措置期間内に流出防止対策を行うことが義務化されますので、紹介します。

地下タンクに関する総務省令が改正されます

施行日：平成23年2月1日（2年間経過措置有）

漏れた後の処置費用は膨大



図：地盤面下に直接埋設された既設の鋼製一重殻の地下貯蔵タンクの例

腐食の恐れの特に高い地下貯蔵タンク

腐食の恐れの高い地下貯蔵タンク

設置年数	塗覆装の種類	設計板厚
50年以上	アスファルト	全て
	モルタル	8.0mm未満
	エポキシ樹脂等	6.0mm未満
	強化プラスチック	4.5mm未満
40年以上 50年未満	アスファルト	4.5mm未満

設置年数	塗覆装の種類	設計板厚
50年以上	モルタル	8.0mm以上
	エポキシ樹脂等	6.0mm以上
	強化プラスチック	4.5mm以上 12.0mm未満
	アスファルト	4.5mm以上
40年以上 50年未満	モルタル	6.0mm未満
	エポキシ樹脂等	4.5mm未満
	強化プラスチック	4.5mm未満
	アスファルト	6.0mm未満
30年以上 40年未満	モルタル	4.5mm未満
	アスファルト	4.5mm未満
20年以上 30年未満	アスファルト	4.5mm未満

危険物の流出防止対策

- A: 腐食の恐れの特に高い地下貯蔵タンク
FRP内面ライニング¹又は電気防食²
- B: 腐食の恐れの高い地下貯蔵タンク
Aの措置又は危険物の漏れを
早期に検知するための措置

当社に連絡いただければ、調査に伺います

1 FRP内面ライニング：埋設されたまま、内面へ強化プラスチックを被覆

2 電気防食：地下に埋設されたタンクへ、外部から直接直流電流を流し腐食の進行を防止